

単元名：

「形を意識して字を書こう」

(全3時間扱い中 第2時)

授業日時 2021年10月18日(月)第2校時

授業学級 2年西組

授業会場 2年西組教室

授業者

指導者

(1) 主眼(授業の手立て&ねらい)

(○○の子ども達が)○○の場で、○○を通して、○○を□□することができる／できるようになる。

前時に自分の中で「この字をカッコよく書きたい」という願いを持った子ども達が、自分が書きたいと思った文字の形について考える場面で、外形の概念やそれぞれの文字に適した形があることを学ぶ活動を通して、外形を意識して字を書くことができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・【教材】	時間
導入	1. 自分が書きたいと思った字を書いてみる。	『し』にした！」 「見てこれ！こんなに書いた。」 「何にした？」 「この字も書いてみようかな。」 「自分の名前にあるから『し』にしました。」 「綺麗な字。」 「バランスがいい字。」	「前の授業でこの字を上手に書きたいと思った字を一回書いてみてください。」 「なぜその字を選んだのか教えてください。」 【学習プリント】 「今書いた字を、もっと読みやすくてバランスが整った字に変身させたいと思います。『かっこいい字』はどのような字だと思いますか？」	7
	【学習問題】かっこいい字を書くにはどんなことに気をつければいいのかな。 2. 外形について知る。	「はね、払い、止め。」 「文字の大きさ。」 「バランスに気をつけて書く。」 「集中して書く。」 「丸もあるの？」 「ぼくの字はこの形かな？」 「さっきと違う形がある！」 「道路に立ってるもので同じ形があるよ。」 「紙の形と一緒だ。」 「おにぎりの形みたい。」	『名人ポイント』にはどんなものがありましたか？」 ※練習の際に意識できるよう板書として残す。 「文字を書くときには『外形』というものがあります。」【スライド資料】 ※ひらがなと漢字で外形の種類が違うことに気付けるよう、スライドを何度か表示する。 ※外形についてはこの時間のポイントとして意識できるよう、外形の説明(書写の教科書にあるもの)を板書する。 ※集中して話を聞くことができるよう、説明の中に「これはどんなものの形に似ている？」などの問いかけをしていく。	3

	【学習課題】外形を意識して文字を書こう。			
展開	3. 外形クイズに挑戦する。	「三角かな？」 「これじゃないよ。」 「これ！」 「やったー！当たった！」 「三角形じゃない？」 「そうこれ！」 「どれだと思う？」	「この平仮名はどの形にあてはまるでしょうか。」【授業用スライド】 ※どの形にはまっているのかに気付きやすくするため、一つ一つの形を表示する時間を長めにする。 「この漢字はどの形にあてはまるでしょうか。」【授業用スライド】 ※どの形にはまっているのかに気付きやすくするため、一つ一つの形を表示する時間を長めにする。	3
	4. 自分が書きたい字の外形を知る。	「書けた！」 「この形が一番ぴったりはまるかな。」 「どれだと思う？」 「これだ！」	「自分が書きたいと思う字の外形を考えてみましょう。」【学習プリント】 ※自分の字の外形に気付けるよう、全ての形の枠を用意したプリントを配布する。 ※それぞれの字に合った外形を知ることができるよう、文章に外形をつけたものを示す。	10
	5. 字の形を意識して練習をする。	「覚えてる。」 「これで合っているかな？」 「ちょっと難しい。」 「この形だからここに書けばいいのか。」 「できた！」	「書く時の正しい姿勢は覚えていますか？」【授業用スライド】 「ではプリントに外形を意識しながら書いてみましょう。」【学習プリント】 ※形を意識しすぎて線の方向が変わることが無いよう声掛けをする。(例：外形が丸い文字を書く際に線が湾曲する)	12
終末	6. 今日の学習を振り返る。	「バランスが取れた。」 「いつもより書きやすかったな。」 「前よりもかっこよく書けたよ。」 「他の字でも外形に気をつけて書きたいと思った。」	「今日は外形について勉強しましたが、外形に気をつけて書くとうどうでしたか。」 ※全員で共有できるよう、出た感想は板書し、今後も外形について意識できるよう、外形も名人ポイントに加わったことを確認する。 「次回は今日勉強したことを使って、この前書いた作品をもう一度書いてみます。」	10
【本時の評価（評価する対象）】 外形を意識して字を書くことができる（学習プリント）				